



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル
コード番号 2183 URL <https://www.linical.com/ja/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 秦野 和浩
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,426	△10.5	△192	—	△239	—	△280	—
2024年3月期中間期	6,064	2.4	421	12.8	483	△21.3	178	△61.8

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △512百万円 (—%) 2024年3月期中間期 708百万円 (△24.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△12.42	—
2024年3月期中間期	7.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	17,286	7,383	42.7	326.90
2024年3月期	18,539	8,235	44.4	364.60

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 7,383百万円 2024年3月期 8,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,468	△6.8	250	△65.6	258	△67.3	150	△55.7	6.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	24,740,000株	2024年3月期	24,740,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	2,153,569株	2024年3月期	2,153,564株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	22,586,434株	2024年3月期中間期	22,586,436株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2024年11月20日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

① 当中間連結会計期間の経営成績の状況

当中間連結会計期間の経営成績は、米国が前年同期比で大幅な増収となる一方で、日本・アジア地域が前年同期比で大幅な減収となったことにより、連結の売上高は5,426百万円(前年同期比10.5%減)となりました。利益面では、売上の好調な米国が大幅な営業増益となった他、欧州でも前年同期比で赤字幅が縮小したものの、日本・アジア地域が大幅な減収により営業赤字となったことから営業損失は192百万円(前年同期は421百万円の営業利益)、為替差損の計上により経常損失は239百万円(前年同期は483百万円の経常利益)となりました。また、当期は特別損失は発生しなかったものの上記要因により、親会社株主に帰属する中間純損失は280百万円(前年同期は178百万円の親会社株主に帰属する中間純利益)となりました。

② 地域別の状況

日本においては、受注獲得が想定通りに進まなかったことに加え、前期に複数の既存案件の中止や期間短縮の契約変更が発生したことによる当期売上への影響もあり、前年同期比で大幅な減収となりました。また、利益面でも上記の理由から営業赤字となりました。日本の製薬業界では各社で早期退職募集が相次ぐなど構造改革が進み厳しい市場環境が続いていますが、当社では欧米及びアジア事業と連携し、海外バイオテックに対して日本市場への進出を提案するなどの営業活動を粘り強く継続しております。また、人員稼働率向上のための施策と販管経費の徹底した見直しを行い業績改善に努めてまいります。

米国においては、受注した業務が想定通り進捗し順調に売上高を計上していることに加え、追加作業発生による契約変更等もあり、前年同期比で大幅に増収増益となりました。米国のバイオテック企業等からの新規案件を順調に獲得しており、引き続き米国CRO市場の深耕に注力し、持続的な成長を図ってまいります。

欧州においては、米国事業との連携を推し進めたことによる営業面での成果を発揮しつつありますが、当期の売上増加に寄与するまでには至らず前年同期比で減収となりました。利益面ではコスト削減の効果により赤字幅は縮小しました。足元では引き合いは増加しつつあり、欧州での営業人員の採用による体制の強化を進めており、受注拡大に注力してまいります。

韓国においては、既存案件の契約変更による売上金額の減少に加え複数案件の進捗遅れにより、前年同期比で大幅な減収となりました。また、この結果、利益面でも営業赤字となりました。韓国で発生している医療ストライキの影響は新規案件の受注や既存案件の進捗にも影響を与えており、その動向を注視しております。

中国においては、新規獲得案件の本稼働の遅れや既存案件の終了に伴う売上減少等により前年同期比で減収、営業赤字となりました。

台湾においては、新規案件の獲得に苦戦し、前期に発生した既存案件の中止や案件の終了の影響等を穴埋めすることができず前年同期比で減収、営業赤字が拡大しました。しかしながら、台湾のバイオテックからグローバル試験の内諾を得たことや、台湾国内案件の受注を獲得するなど、営業面で改善の兆しがみられます。

③ セグメント別の経営成績

CRO事業

当社グループのCRO事業につきましては、売上高は5,155百万円(前年同期比9.3%減)、営業利益は831百万円(同39.8%減)となり、前年同期比で減収減益となりました。

育薬事業

当社グループの育薬事業につきましては、売上高は270百万円(前年同期比29.0%減)、営業損失は24百万円(前年同期は109百万円の営業利益)となり、前年同期比で減収減益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,253百万円(6.8%)減少し、17,286百万円となりました。これは、主に売掛金及び契約資産、のれんの減少によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ401百万円(3.9%)減少し、9,903百万円となりました。これは、主に前受金、預り金が増加する一方、未払法人税等、長期借入金が減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ851百万円(10.3%)減少し、7,383百万円となりました。これは、主に利益剰余金、為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より251百万円減少し、7,213百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は541百万円(前年同期は631百万円の獲得)となりました。これは、主に売上債権及び契約資産の減少額494百万円、前受金の増加額360百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は12百万円(前年同期は18百万円の獲得)となりました。これは、主に差入保証金の差入による支出5百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は662百万円(前年同期は705百万円の使用)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出269百万円及び配当金の支払額338百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日に公表した予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年11月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。育薬事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から5年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

表. 受注残高の推移

(単位: 百万円)

	2024年 3月期末 (A)	2025年3月期		増減率% (B-A)/A
		中間期末	2024年11月 14日時点 (B)	
受注残高	12,188	11,302	11,672	△4.2
地域別	日本	3,877	3,969	2.4
	米国	3,221	3,345	3.9
	欧州	3,655	3,092	△15.4
	アジア	1,434	1,264	△11.8

各地域の受注状況につきましては、以下のとおりです。

日本においては、厳しい市場環境が続いておりますが、複数の新規案件の獲得や契約変更により、2024年3月期末から受注残高は増加いたしました。一方、アジア地域においては、韓国で医療ストライキの影響等もあり新規受注獲得が想定通りに進まなかったため、2024年3月期末から受注残高が減少いたしました。日本・アジア事業と欧米事業が連携し、海外バイオテックに対して日本・アジア市場への進出を提案するなどの営業活動を粘り強く継続してまいります。

米国においては、新規案件の契約締結や工数増加の契約変更による受注残高の積み上げの結果、2024年3月期末から受注残高が増加いたしました。また、上記受注残高には含まれない複数の契約締結作業中の新規案件がある他、引き続きバイオテックからの引き合いは多く、複数のグローバル案件等の打診を受けており、受注残高を積み上げるべく、営業活動を継続しております。

欧州においては、工数を増加する契約変更等もありましたが、既存の受注案件を消化し売上高を計上した結果、2024年3月期末から受注残高が減少いたしました。一方で、米国事業との連携を推し進めたことにより新規案件の受注獲得が進みつつあり、また、上記の受注残高には含まれない契約締結前の案件があります。営業面でグローバル・シナジーをさらに強化することで、欧州を含む新規案件の受注獲得を拡大してまいります。

以上の受注環境のもと、2024年11月14日時点の受注残高は116億円となっております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,465,192	7,213,709
売掛金及び契約資産	3,463,780	2,869,265
前払費用	255,432	258,574
立替金	1,265,542	1,172,357
その他	320,723	377,223
貸倒引当金	△21,895	△14,692
流動資産合計	12,748,776	11,876,437
固定資産		
有形固定資産	518,770	448,675
無形固定資産		
のれん	3,547,866	3,199,719
その他	117,467	102,630
無形固定資産合計	3,665,333	3,302,349
投資その他の資産		
投資有価証券	272,198	282,374
長期前払費用	1,382	3,185
差入保証金	384,805	385,948
繰延税金資産	948,648	987,580
投資その他の資産合計	1,607,034	1,659,088
固定資産合計	5,791,138	5,410,113
資産合計	18,539,915	17,286,550

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	493,640	423,656
未払金	847,585	780,143
未払費用	349,336	301,261
未払法人税等	264,241	25,635
未払消費税等	22,481	1,346
前受金	2,521,964	2,745,153
預り金	2,271,085	2,405,821
賞与引当金	199,310	193,555
その他	199,240	126,293
流動負債合計	7,768,885	7,602,868
固定負債		
長期借入金	1,499,950	1,299,946
リース債務	304,677	254,951
退職給付に係る負債	704,710	720,785
その他	26,671	24,562
固定負債合計	2,536,008	2,300,244
負債合計	10,304,894	9,903,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
利益剰余金	7,315,200	6,695,887
自己株式	△657,461	△657,464
株主資本合計	6,871,781	6,252,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,631	33,586
為替換算調整勘定	1,287,406	1,053,789
退職給付に係る調整累計額	50,201	43,594
その他の包括利益累計額合計	1,363,239	1,130,970
純資産合計	8,235,021	7,383,437
負債純資産合計	18,539,915	17,286,550

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	6,064,464	5,426,350
売上原価	4,079,827	4,111,865
売上総利益	1,984,637	1,314,484
販売費及び一般管理費	1,563,405	1,507,131
営業利益又は営業損失(△)	421,231	△192,646
営業外収益		
受取利息	12,703	27,492
為替差益	69,470	—
営業外収益合計	82,174	27,492
営業外費用		
支払利息	9,188	8,401
為替差損	—	64,989
投資有価証券評価損	10,359	1,183
営業外費用合計	19,547	74,574
経常利益又は経常損失(△)	483,858	△239,728
特別利益		
子会社清算益	37,776	—
特別利益合計	37,776	—
特別損失		
事業構造改善費用	147,402	—
特別損失合計	147,402	—
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	374,232	△239,728
法人税、住民税及び事業税	226,730	136,842
法人税等調整額	△31,404	△96,053
法人税等合計	195,326	40,788
中間純利益又は中間純損失(△)	178,905	△280,516
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	178,905	△280,516

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	178,905	△280,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,247	7,955
為替換算調整勘定	549,236	△233,617
退職給付に係る調整額	△4,404	△6,606
その他の包括利益合計	529,585	△232,268
中間包括利益	708,491	△512,785
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	708,491	△512,785

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	374,232	△239,728
減価償却費	86,465	84,038
のれん償却額	168,405	184,611
長期前払費用償却額	1,559	1,690
事業構造改善費用	147,402	—
子会社清算損益(△は益)	△37,776	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,917	△2,123
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△495	△6,388
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23,770	11,190
受取利息及び受取配当金	△12,703	△27,492
支払利息	9,188	8,401
投資有価証券評価損益(△は益)	10,359	1,183
為替差損益(△は益)	△69,775	34,281
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	219,815	494,864
立替金の増減額(△は増加)	41,666	38,250
前払費用の増減額(△は増加)	△25,135	△7,838
未払金の増減額(△は減少)	△21,673	△43,372
未払費用の増減額(△は減少)	△86,759	△39,763
前受金の増減額(△は減少)	△2,977	360,729
預り金の増減額(△は減少)	382,506	191,180
その他	△38,352	△163,871
小計	1,138,100	879,843
利息及び配当金の受取額	12,703	27,400
利息の支払額	△9,194	△8,509
法人税等の支払額	△373,424	△357,502
事業構造改善費用の支払額	△137,008	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	631,176	541,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,716	△1,937
無形固定資産の取得による支出	—	△2,236
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
投資事業組合からの分配による収入	41,968	—
長期前払費用の取得による支出	△19	△2,708
差入保証金の差入による支出	△14,570	△5,719
差入保証金の回収による収入	2,831	364
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,493	△12,236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△269,988	△269,988
自己株式の取得による支出	—	△2
配当金の支払額	△315,483	△338,427
リース債務の返済による支出	△120,046	△54,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△705,518	△662,679
現金及び現金同等物に係る換算差額	330,513	△117,798
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	274,665	△251,483
現金及び現金同等物の期首残高	7,042,100	7,465,192
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,316,765	7,213,709

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	CRO事業	育薬事業	計		
売上高					
日本・アジア	2,644,188	379,061	3,023,249	—	3,023,249
米国	1,706,719	—	1,706,719	—	1,706,719
欧州	1,331,892	2,603	1,334,495	—	1,334,495
顧客との契約から生じる収益	5,682,800	381,664	6,064,464	—	6,064,464
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,682,800	381,664	6,064,464	—	6,064,464
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,682,800	381,664	6,064,464	—	6,064,464
セグメント利益	1,382,558	109,275	1,491,834	△1,070,602	421,231

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,070,602千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 収益の分解情報である地域ごとの売上高は、サービスの提供地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	CRO事業	育薬事業	計		
売上高					
日本・アジア	1,824,322	259,094	2,083,417	—	2,083,417
米国	1,950,639	—	1,950,639	—	1,950,639
欧州	1,380,489	11,803	1,392,292	—	1,392,292
顧客との契約から生じる収益	5,155,452	270,898	5,426,350	—	5,426,350
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,155,452	270,898	5,426,350	—	5,426,350
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,155,452	270,898	5,426,350	—	5,426,350
セグメント利益又は損失(△)	831,829	△24,311	807,518	△1,000,165	△192,646

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,000,165千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 収益の分解情報である地域ごとの売上高は、サービスの提供地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。